



2018年3月期 第2四半期決算説明会 決算説明資料

2017年11月15日

代表取締役 社長執行役員 安田 正介

証券コード：8130
(東証一部、名証一部)

目次

■ 2018年3月期 第2四半期 決算の状況 p.3

- 決算のPOINT p.4-5
- 新規連結子会社について p.6
- 連結損益計算書 p.7
- 連結売上高・営業利益・当期純利益推移 p.8
- 販売費及び一般管理費 前年同期比の主な増加要因 p.9
- セグメント別売上高と営業利益 p.10
- インテリア事業 外部環境 p.11
- インテリア事業 関連市場の状況 p.12
 - ・壁装材 p.13
 - ・床材 p.14
- 連結貸借対照表 p.14
- 連結キャッシュ・フロー計算書 p.15
- Cash Conversion Cycle(連結) p.16

■ 2018年3月期 第2四半期の取り組み p.17

- 2018年3月期 第2四半期の取り組み p.17
 - 1.物流施設 新設統廃合 p.18
 - 2.商品開発 p.19
 - 3.品質管理の強化 p.20
 - 4.営業体制見直し p.21
 - 5.海外 p.22
 - 6.自己株式取得の推移 p.23

■ 2018年3月期 通期見通し p.24

- 連結業績(修正計画) 見通し(概要) p.25
- 連結業績計画 p.26
- 連結セグメント別業績計画 p.27
- ご参考資料 p.28
 - ・商品開発力 p.29
 - ・提案力 p.30
- 将来見通しに関する注意事項 p.31

2018年3月期 第2四半期 決算の状況

決算のPOINT

1 売上高 755.0億円：前期比+105.2億円(+16.2%)、期初計画比+5.0億円(+0.7%)

- ・海外(新規連結先)：前期比+87.7億円
- ・インテリア事業(含フェアトーン)：前期比+19.3億円(+3.5%)
その内既存インテリア事業：前期比+14.1億円(+2.5%)

2 売上総利益 233.2億円：前期比+39.4億円(+20.3%)、期初計画比▲1.8億円(▲0.8%)

- ・海外(新規連結先)：前期比+33.7億円
- ・インテリア事業(含フェアトーン)：前期比+5.8億円(+3.3%)

3 販売費及び一般管理費 205.2億円：前期比+47.0億円(+29.7%)、
期初計画比▲3.8億円(▲1.8%)

- ・海外(新規連結先)：前期比+28.5億円
- ・インテリア事業(含フェアトーン)：前期比+14.4億円
- ・新規連結先のれん償却：前期比+3.5億円

4 営業利益 27.9億円：前期比▲7.6億円(▲21.5%)、期初計画比+1.9億円(+7.5%)

5 当期純利益 20.3億円：前期比▲8.3億円(▲29.1%)、期初計画比+0.3億円(+1.7%)



決算のPOINT

■ **サンゲツ単体の構造改善・機能強化の為の政策的経費増が収益を圧迫。商品開発力・営業力・物流機能等の事業遂行能力は着実に向上。**

■ **海外事業の展開に伴い、日米中の商品開発・調達面での協業が進展。**

新規連結子会社について

	2016年3月期				2017年3月期				2018年3月期				セグメント
	4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q	1-3月 4Q	4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q	1-3月 4Q	4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q	1-3月 4Q	
3月決算 サンゲツ他	日本	インテリア エクステリア 照明			2017年3月期 第2四半期		2017年3月期 下期		2018年3月期 第2四半期		2018年3月期 下期		インテリア事業 エクステリア事業 照明事業
3月決算 フェアトーン	日本	内装工事											インテリア 事業
3月決算 サンゲツ ヴォーヌ	日本	ファブリック ク販売											インテリア 事業
12月決算 山月堂上海	中国	インテリア 材料販売											海外事業
12月決算 Koroseal社	北米	インテリア 材料製造 ・販売											海外事業

 : B/S連結
 : P/L連結

連結損益計算書

単位(億円、%)

	2017年3月期		2018年3月期				
	第2四半期 実績	第2四半期 期初計画			第2四半期 実績		
			前期比(%)			前期比(%)	計画比(%)
売上高	649.8	750.0	+100.2(+15.4%)		755.0	105.2(+16.2%)	5.0(+0.7%)
売上総利益	193.8	235.0	+41.2(+21.2%)		233.2	39.4(+20.3%)	▲1.8(▲0.8%)
販売費及び 一般管理費	158.2	209.0	+50.8(+32.1%)		205.2	47.0(+29.7%)	▲3.8(▲1.8%)
営業利益	35.5	26.0	-9.5(▲26.9%)		27.9	▲7.6(▲21.5%)	1.9(+7.5%)
経常利益	39.6	29.0	-10.6(▲26.9%)		31.7	▲7.9(▲19.9%)	2.7(+9.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	28.6	20.0	-8.6(▲30.3%)		20.3	▲8.3(▲29.1%)	0.3(+1.7%)
EPS(円) ※	42.4	29.8	-12.6(▲29.7%)		30.7	▲11.7(▲27.7%)	0.9(+2.7%)
EBITDA	50.3	-	-		45.7	▲4.6(▲9.1%)	-

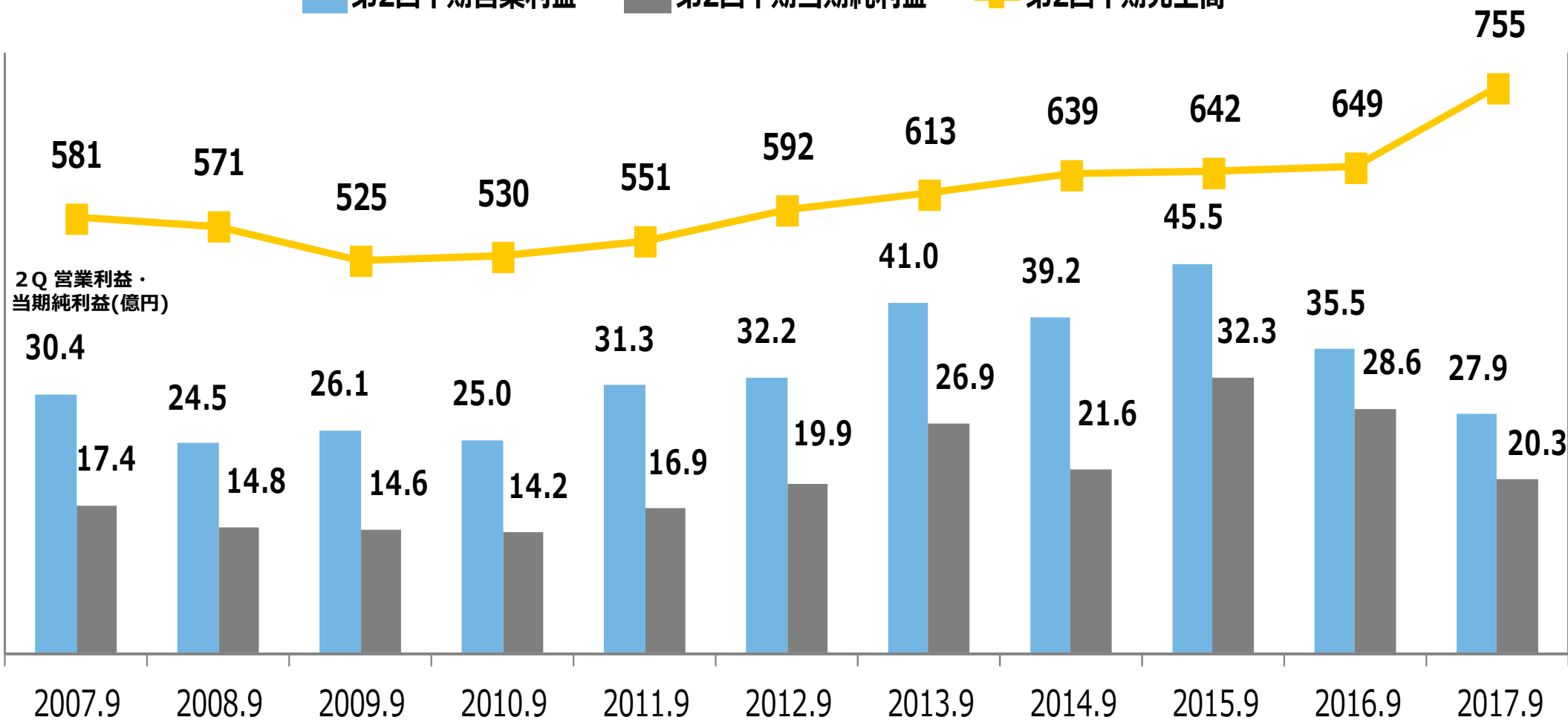
EBITDA = 税引前利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却額

※EPSは潜在株式調整後の株式数にて算出

連結売上高・営業利益・当期純利益推移

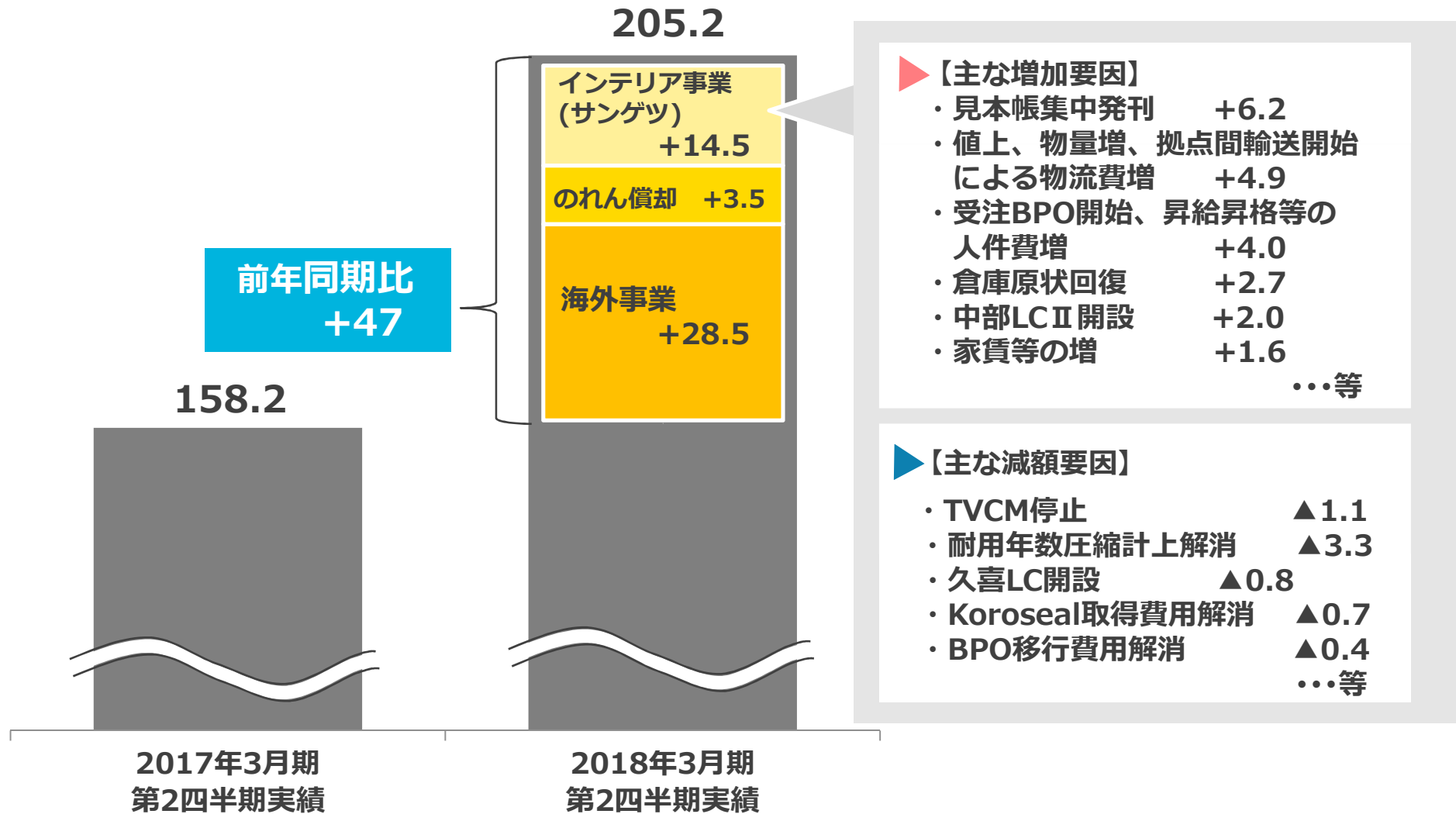
■ 第2四半期営業利益 ■ 第2四半期当期純利益 ■ 第2四半期売上高

2Q 売上高(億円)



販売費及び一般管理費 前年同期比の主な増加要因

単位(億円)



セグメント別売上高と営業利益

単位(億円、%)

事業セグメント	2017年3月期	2018年3月期				
	第2四半期実績	第2四半期期初計画	第2四半期実績	構成比	前期比(%)	計画比(%)
インテリア事業 売上高	557.1	572.0	576.4	76.4%	+19.3(+3.5%)	+4.4(+0.8%)
壁装材	274.8	—	282.4	49.0%	+7.6(+2.8%)	—
床材	195.6	—	202.2	35.1%	+6.6(+3.4%)	—
ファブリック	36.4	—	36.2	6.3%	▲0.2(▲0.6%)	—
その他(フェアトーン含)	50.1	—	55.5	9.6%	+5.4(+10.7%)	—
営業利益	33.6	20.9	24.9	89.5%	▲8.7(▲25.7%)	+4.0(+19.6%)
エクステリア事業 売上高	72.5	74.4	74.5	9.9%	+2.0(+2.7%)	+0.1(+0.2%)
営業利益	2.0	2.2	2.4	8.6%	+0.4(+18.0%)	+0.2(+9.2%)
照明器具事業 売上高	20.5	20.3	17.9	2.4%	▲2.6(▲12.7%)	▲2.4(▲11.7%)
営業利益	▲0.0	▲0.2	▲0.4	▲1.6%	▲0.4(—)	▲0.2(—)
海外事業 売上高	—	83.2	87.7	11.6%	+87.7(—)	+4.5(+5.4%)
営業利益	▲0.0	3.1	1.6	6.0%	+1.6(—)	▲1.5(▲45.7%)
営業利益(のれん償却前)	▲0.0	9.4	5.1	18.5%	+5.1(—)	▲4.3(▲45.1%)
セグメント間取引調整(売上高)	▲0.3	—	▲1.6	▲0.2%	▲1.3(—)	—
セグメント間取引調整(営業利益)	▲0.0	—	▲0.6	▲2.5%	▲0.6(—)	—
連結売上高	649.8	750.0	755.0	100%	+105.2(+16.2%)	+5.0(+0.7%)
連結営業利益	35.5	26.0	27.9	100%	▲7.6(▲21.5%)	+1.9(+7.5%)

※海外セグメントを新たに追加し4区分に変更したため、2017年3月期2Q実績の数値を変更後のセグメント区分に組み替えています。

インテリア事業 外部環境

		新設住宅着工戸数	新設住宅着工床面積	住宅リフォーム市場	民間非居住建築物 着工床面積 (倉庫・工場を除く)
		(国土交通省発表資料)	(国土交通省発表資料)	(当社推計)	(国土交通省発表資料)
		前期比	前期比	前期比	前期比
2015年	4-9月	+6.9%	+3.5%	+4.5%	▲4.7%
	10-3月	+2.2%	+0.7%	+1.0%	▲8.5%
2016年	4-9月	+6.0%	+4.1%	▲2.0%	+1.6%
	10-3月	+5.6%	+4.1%	+2.2%	+6.2%
2017年	4-9月	▲0.7%	▲1.4%	+1.2%	▲0.4%

1. 新築住宅

本年度の新設住宅着工戸数は4-9月▲0.7%。持家、貸家共にマイナスに転じたが、持家の落ち込みが大きく新設住宅着工床面積▲1.4%。

2. リフォーム 需要

昨年第2四半期 6月の消費増税の延期決定によるマインド低下で大幅マイナスに比し、今期は景気の堅調な推移もあり、若干の回復傾向。
※当社推計値は過去も含めて見直しを実施。

3. 新設非住宅

ホテル需要は堅調に推移するも、卸小売業用・医療福祉業用の新設が低迷。

インテリア事業 関連市場の状況(壁装材)

壁装材 関連市場の状況(カッコ内は業績に影響を与える対象期間)

単位(億円)

新築住宅市場 (2017年1月~6月)

新設住宅着工戸数 前期比	持家	▲0.6%
	賃貸	+4.7%
+2.1%		

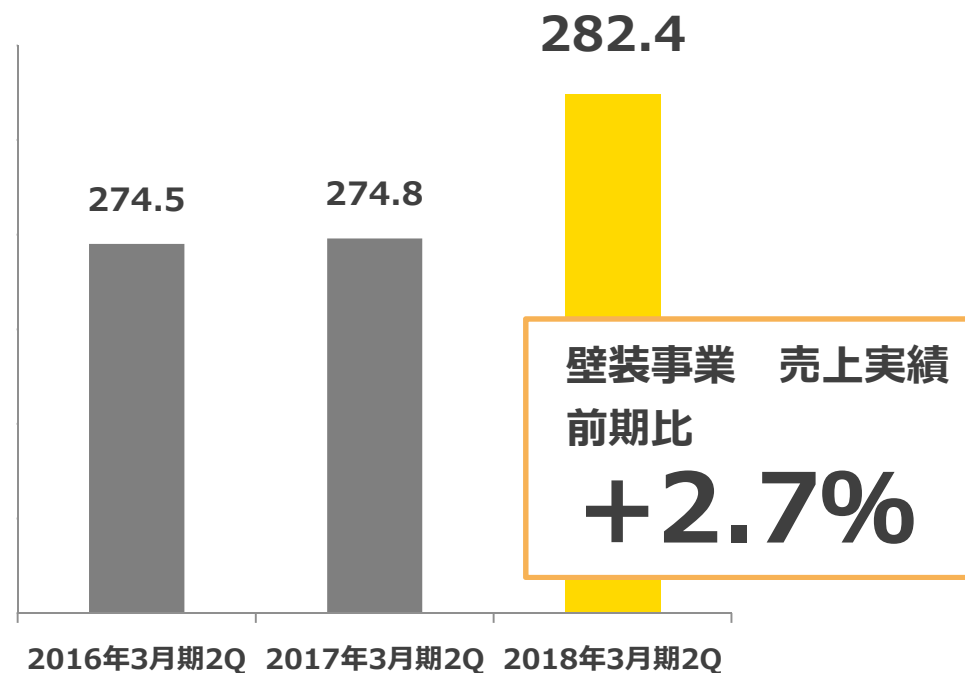
新設住宅着工床面積
前期比 **+1.9%**

住宅リフォーム市場 (2017年4月~9月)

前期比 **+1.2%**

業界全体の壁紙出荷数量 (2017年4月~9月)

前期比 **+1.4%**



- 量産壁紙(廉価品)の市場シェア拡大、一部の商品価格下落。
- バリューチェーンへのきめ細かな対応強化により、シェア確保し売上増。

インテリア事業 関連市場の状況(床材)

床材 関連市場の状況

単位(億円)

民間非居住建築物 着工床面積
(用途別,倉庫・工場を除く)

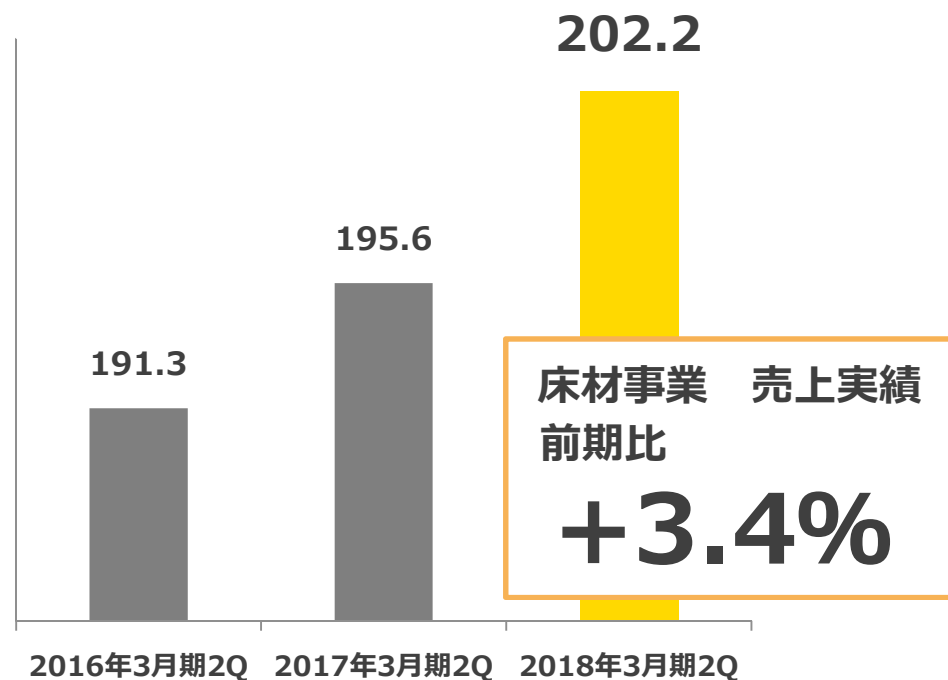
2015年度 前期比	▲6.5%	2016年度 前期比	+3.7%
---------------	-------	---------------	-------

民間非居住建築物着工床面積(用途別)

	2016年度	2017年度4~9月
卸売業、 小売業用	+0.1%	▲14.7%
宿泊業、飲食・ サービス業用	+51.4%	+24.0%
医療・福祉用	+4.6%	▲13.1%
その他の サービス業用	▲7.4%	▲10.5%

業界全体の商材別出荷数量 前期比

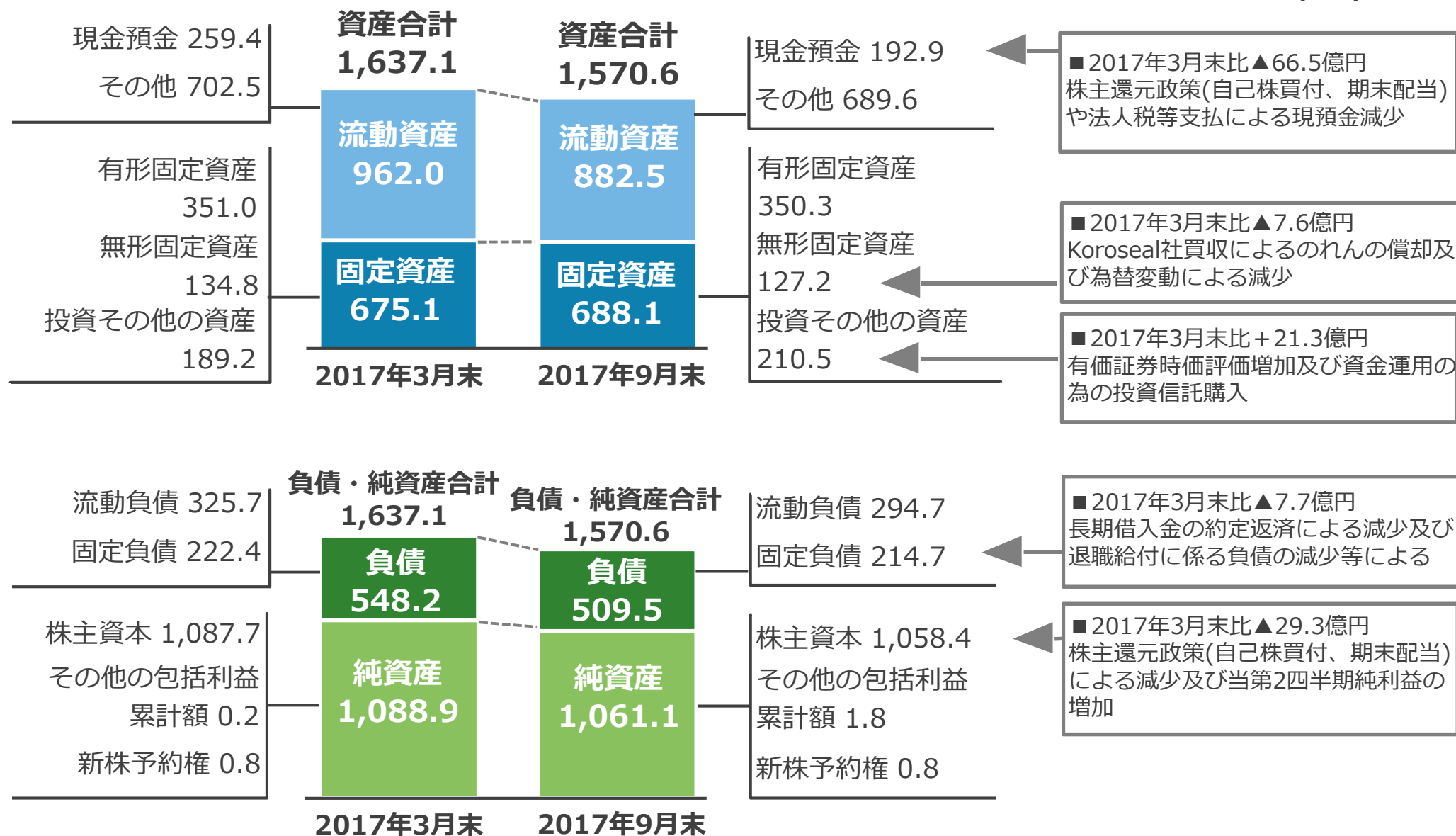
タフテッドカーペット(4-8月)	+10.2%
カーペットタイル(4-8月)	+4.2%
長尺シート(4-9月)	+0.7%
フロアタイル(4-9月)	±0%



- 繊維系(カーペット、カーペットタイル)は苦戦。
- 塩ビ系(長尺シート、フロアタイル)は順調。

連結貸借対照表

単位(億円)



連結キャッシュ・フロー計算書

単位(億円)

現金及び現金同等物 64.3億円減少

■ 営業キャッシュ・フロー +9.6

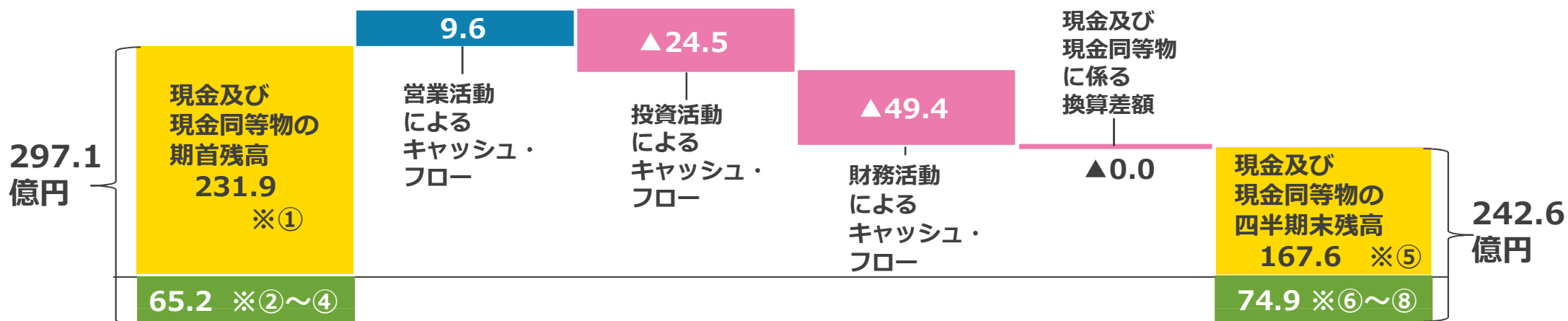
税金等調整前当期純利益	+31.7
減価償却費	+11.3
法人税等支払	▲16.6
運転資金増減	▲13.6

■ 投資キャッシュ・フロー ▲24.5

有形・無形固定資産取得	▲11.3
(デジタル関連▲4.8、新基幹システム▲1.6)	
有価証券取得・償還差額	▲14.9

■ 財務キャッシュ・フロー ▲49.4

自己株式取得	▲33.2
配当金支払	▲18.4



2017年3月末

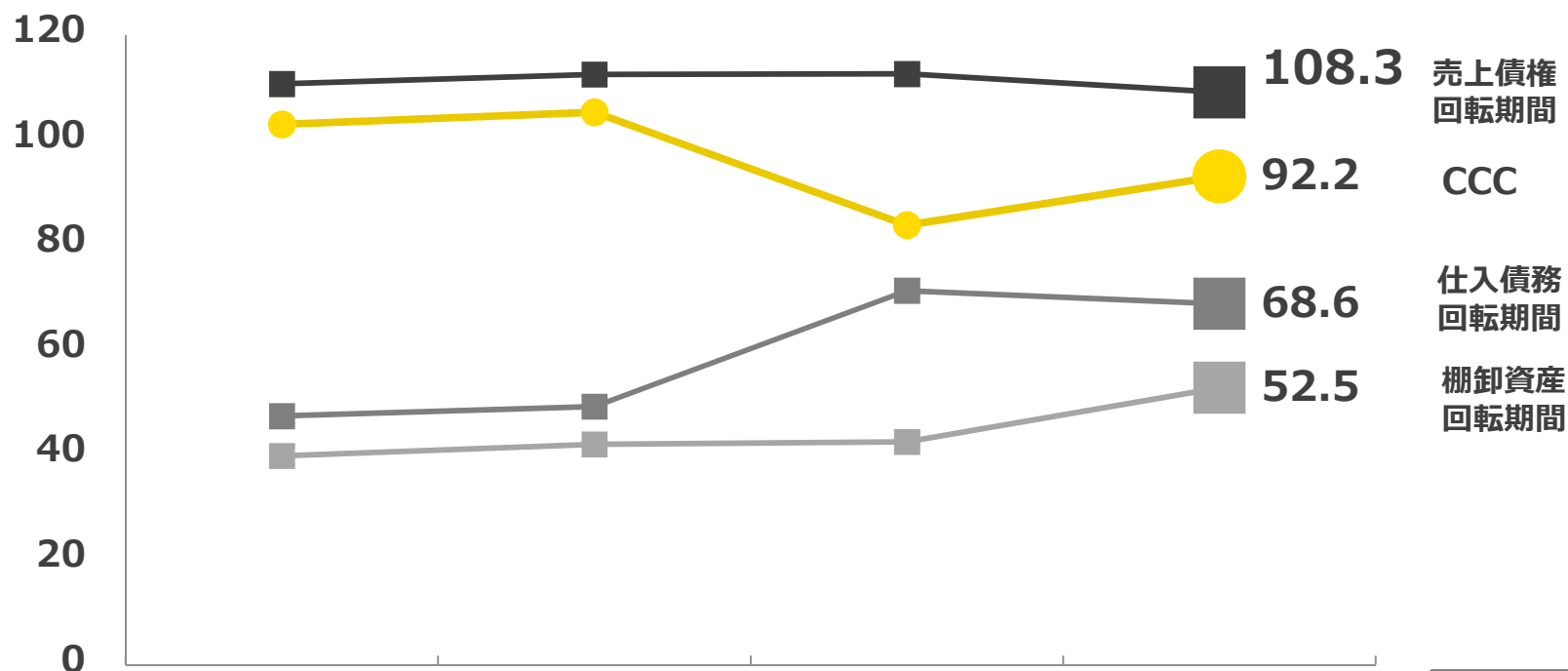
- ①キャッシュ・フロー計算書記載の現金及び現金同等物 231.9億円
- ②預入期間が3ヶ月を超える定期預金 27.4億円
- ③有価証券 18.0億円
- ④投資有価証券(株式除く) 19.6億円
- ①～④ **297.1億円**

2017年9月末

- ⑤キャッシュ・フロー計算書記載の現金及び現金同等物 167.6億円
- ⑥預入期間が3ヶ月を超える定期預金 25.2億円
- ⑦有価証券 20.1億円
- ⑧投資有価証券(株式除く) 29.6億円
- ⑤～⑧ **242.6億円**

Cash Conversion Cycle(連結)

単位(日)



	2014年9月末	2015年9月末	2016年9月末	2017年9月末
売上債権回転期間	110.7	112.5	112.6	108.3
棚卸資産回転期間	39.8	42.0	42.5	52.5
仕入債務回転期間	47.4	49.2	71.3	68.6
CCC	103.0	105.3	83.8	92.2

■見本帳発刊が集中した事で新旧の在庫増による。

■買掛金期末残高が減少した事による。

※2017年9月末(期間2016年10月1日～2017年9月30日)は、Koroseal社のP/L連結前期間の数値を連結後期間(2017年1月1日～2017年6月30日)の業績と同額と見なして加算し、計算しています。

2018年3月期 第2四半期の取り組み

2018年3月期 第2四半期の取り組み

1. 物流施設 新設統廃合 ※LC:ロジスティクスセンター

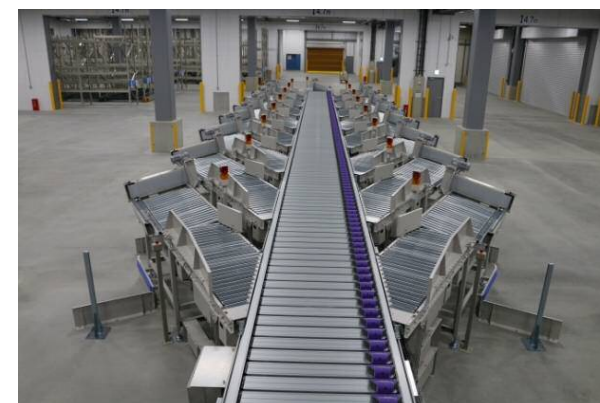
- ・ 2017年5月 中部LCⅡ稼働開始
- ・ 2017年8月 フロアタイル・リアテックを
供給者倉庫から中部LCⅢへ在庫移転
- ・ 2017年10月 カーテン生地を
品川LCから縫製工場へ在庫移転



在庫の配置転換と
拠点間輸送



中部ロジスティクスセンターⅡ(愛知県稲沢市)
稼働：2017年5月8日



2018年3月期 第2四半期の取り組み

2.商品開発

第2四半期に発刊した見本帳

- ・ 5月 **壁装材** 「2017-2019 ファイン」
- ・ 6月 **壁装材** 粘着剤付化粧フィルム「リアテックvol.9」
壁装材 「2017-2019 ガラスフィルム」
床 材 「2017-2020 ロールカーペット」
- ・ 7月 **壁装材** 「2017-2019 SP」
カーテン 「STRINGS 2017-2020」
カーテン 「Simple Order vol.1」
- ・ 9月 **床 材** 「2017-2019 フロアタイル」



切り絵の手法で制作したデザインの壁紙
FE-1014(「2017-2019ファイン」)

壁紙と床材で、2017年グッドデザイン賞を受賞しました。



チョークで自由に
描き消しができる
黒板のような壁紙
「Black board」



カーペットと
硬質床材の
特長を併せ持つ
新たな繊維系床材
「FLOTEX」

2018年3月期 第2四半期の取り組み

3.品質管理の強化

2017年8月 中部ロジスティクスセンターⅡ内 **商品試験室** 稼働開始
オペレーター4名を含む6名体制



- 1) 商品の受入検査
- 2) クレームの再現と対策品の効果把握
- 3) 新規技術の評価



**ファブレスメーカーとして、
必要十分な品質管理体制を稼働開始**



2018年3月期 第2四半期の取り組み

4.営業体制見直し

バリューチェーン各層に対する戦略的な営業体制

■ハウジング営業部の新設



市場別対応力の強化

■法人営業部 東日本リアテック課、
西日本リアテック課の新設

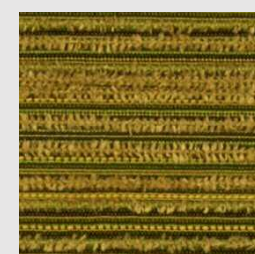


高付加価値商品の
販売力強化

■椅子生地事業室の増員



木目や金属といった
素材感を緻密に再現
した粘着剤付化粧
フィルム「REATEC」



ファブリックの意匠性
と共に、はっ水や耐候、
抗菌等の機能性にも優
れた椅子生地

2018年3月期 第2四半期の取り組み

5.海外

■ 米国 Koroseal Interior Products Holdings, Inc.

- ・ 米国専用 リアテック見本帳(7,000冊)発刊
- ・ 織物、箔、紙布などの日本製壁紙の販売開始
- ・ 床材事業開始準備

■ 中国 山月堂(上海)装饰有限公司

- ・ 現地体制の整備 8名体制
- ・ 機能性商品を収録した現地専用見本帳を発刊
→医療施設等へ採用進捗



日米中での商品・仕入の提携スタート



Koroseal本社が所在するビル(オハイオ)



中国専用壁紙見本帳

2018年3月期 第2四半期の取り組み

6.自己株式取得の推移

自己株式取得の状況		
取得期間	取得株式総数(株)	取得総額(円)
2017年4月1日～2017年4月28日	522,700	1,006,186,000
2017年7月3日～2017年9月5日	1,000,000	1,973,517,777
2017年9月11日～2017年9月30日	167,800	335,296,996
合計	1,690,500	3,315,000,773
【ご参考】 2017年10月1～2017年10月31日 (※9月11日～12月22日まで100万株20億円を上限に実施)	244,300	483,901,993

自己株式消却の状況		
消却日	消却株式総数(株)	消却後の発行済株式総数(株)
2017年5月31日	670,000	67,400,000
2017年9月29日	400,000	67,000,000

2018年3月期 通期見通し

連結業績(修正計画) 見通し(概要)

1

売上高 1,560億円
期初計画 同額 前期比203.6億円増(+15.0%)

・国内 各セグメントともにほぼ期初計画通り。海外事業はドル建では減少も、円建では期初計画通り。

2

営業利益 61億円
期初計画比 15億円減 前期比 14.7億円減(-19.4%)

・インテリア事業

総利益： 上期総利益率実績は期初計画比減、下期総利益率を見直し期初計画比8.4億円減。

販管費： 期初計画比2.4億円減。

・海外事業

総利益： 売上高・総利益率共に強気であったKoroseal社の期初計画を見直し、期初計画比4.5億円減。

販管費： Koroseal社の期初計画を見直し、期初計画比2.8億円増。

3

当期純利益 45億円
期初計画比 10億円減 前期比20.7億円減(-31.5%)

連結業績計画

単位(億円、%)

	2017年3月期	2018年3月期			
	通期実績	通期 期初計画	通期 修正計画		
				前期比(%)	期初との計画差(%)
売上高	1,356.4	1,560.0	1,560.0	+203.6(+15.0%)	0
売上総利益	401.0	490.0	480.0	+79.0(+19.7%)	▲10.0(▲2.0%)
販売費及び 一般管理費	325.3	414.0	419.0	+93.7(+28.8%)	+5.0(+1.2%)
営業利益	75.7	76.0	61.0	▲14.7(▲19.4%)	▲15.0(▲19.7%)
経常利益	83.6	81.0	68.0	▲15.6(▲18.7%)	▲13.0(▲16.0%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	65.7	55.0	45.0	▲20.7(▲31.5%)	▲10.0(▲18.2%)
EPS(円)※	97.4	82.0	67.9	▲29.5(▲30.3%)	▲14.1(▲17.2%)
EBITDA	112.2	—	—	—	—

EBITDA = 税引前利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却額

※潜在株式調整後の株式数にて算出

連結セグメント別業績計画

単位(億円、%)

		2017年3月期	2018年3月期			
		通期実績	通期 期初計画	通期 修正計画		
					前期比(%)	期初との計画差(%)
インテリア	売上高	1,166.8	1,198.0	1,202.0	+35.2(+3.0%)	+4.0(+0.3%)
	営業利益	71.7	63.0	57.0	▲14.7(▲20.6%)	▲6.0(▲9.5%)
エクステリア	売上高	147.7	150.0	150.0	+2.3(+1.5%)	—
	営業利益	4.0	4.4	4.5	+0.5(+11.8%)	+0.1(+2.3%)
照明器具	売上高	42.3	44.5	41.5	▲0.8(▲2.1%)	▲3.0(▲6.7%)
	営業利益	0.2	0.3	0.0	▲0.2(—)	▲0.3(—)
海外	売上高	0.1	167.5	170.0	+169.9(—)	+2.5(+1.5%)
	営業利益 (のれん償却後)	▲0.2	8.3	1.0	+1.2(—)	▲7.3(▲88.0%)
セグメント 間取引調整	売上高	▲0.8	—	▲3.5	▲2.7	—
	営業利益	▲0.0	—	▲1.5	▲1.5	—
合計	売上高	1,356.4	1,560.0	1,560.0	+203.6(+15.0%)	—
	営業利益	75.7	76.0	61.0	▲14.7(▲19.4%)	▲15.0(▲19.7%)

※海外セグメントを新たに追加し4区分に変更したため、2017年3月期通期業績の数値を変更後のセグメント区分に組み替えています。

ご参考資料

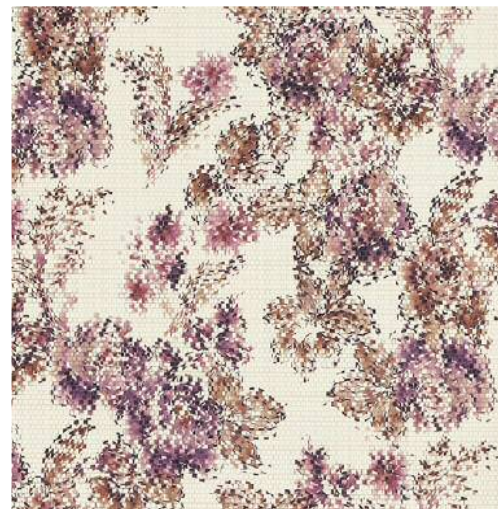
【商品開発力】 トレンドを捉えた多彩な商品群



商品のもととなる
デザイン画



トレンドや日本の家屋に合う
色やデザインの大きさなどを
検討し、試作を重ねます。



壁紙完成

RE-2812
「2016-2018 リザーブ」
収録

【提案力】 多彩な商品を活かしたコーディネート



シミュレーションシステムやモデルルームでの空間提案



提案
=“コトのデザイン”



物件コンセプトに合わせたコーディネートボード提案



商品
=“モノのデザイン”

【納品事例】 神戸ベイシェラトン ホテル&タワーズ

「和のおもてなし」を意識した特注デザインのカーペットを採用いただきました。



【納品事例】 埼玉県立小児医療センター

フックスがけが不要な、高性能単層シート「オデオンPUR」を採用いただきました。



将来見通しに関する注意事項

本資料には当社の「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

MEMO

MEMO

Joy of Design